

Jスポ

目指せ!

「箱根」の頂点

いよいよ「箱根」が迫ってきた。城西大学男子駅伝部は、新春の1月2～3日に東京箱根間で行われる第87回箱根駅伝に出場する。

第87回箱根駅伝 予想メンバー

(裏面に全部員を紹介)

Table with 2 columns: 名前, 学年. Lists team members like 石田 亮 (Year 4) and 山岡 昌吾 (Year 4).



東京箱根間往復大学駅伝競

箱根駅伝

正式には「東京箱根間往復大学駅伝競走」。関東地区の大学駅伝チャンピオンを決める大会だったが、1987年に民放テレビが全国生中継を始めて以来、国民的スポーツ大会として定着した。

第1回大会は、90年前の1920年2月に行われた。「日本のマラソンの父」といわれた金栗四三氏が、「五輪に勝つには長距離、マラソン選手の育成が急務」と発案したのが契機となった。

過去の成績

Table with 3 columns: 回数, 総合順位, 11時間. Lists past race results from the 80th to 86th editions.

総合6位・シード権を獲得した 第86回大会のメンバー

往路10位/復路3位 (学年は当時)

Table with 3 columns: 区間, 名前, 学年, 区間順位. Lists members from the 86th edition who secured the seed.

各コースの紹介

「区間賞をとり、チームに貢献したい」

田中佳祐主将インタビュー

「区間賞をとり、チームに貢献したい」 田中佳祐主将インタビュー. Interview text discussing the team's goals and the importance of the relay race.



各コースの紹介. Detailed descriptions of the 10 relay sections (1区 to 10区) along the course from Tokyo to Sapporo and back.

箱根駅伝の物語

箱根駅伝の物語. A historical overview of the relay race, including its origins and past challenges.

中断

中断. A section discussing the suspension of the race in previous years due to various circumstances.

伴走

伴走. A section discussing the role of support staff and the '伴走' (accompanying) aspect of the relay.

城西スポーツ. Logo and contact information for the sports department of Seiji University.

8年連続出場おめでとうございます. Article celebrating the 8th consecutive participation of Seiji University in the relay race.

水田宗子理事長 あいさつ. A message from the president of Seiji University, Mitsuaki Mizuda, regarding the team's participation.

走れ! 男子駅伝部 3強を崩せ!!

メンバー紹介

() カッコ内は学部学年・出身高・所在地



石田 亮
(経営4、青森山田高・青森)



甲岡 昌吾
(経営4、宇和島東高・愛媛)



田中 佳祐
(経営4、大牟田高・福岡)



田中 諒兵
(経営4、新発田中央高・新潟)



三田 翔平
(経営4、桐蔭学園高・神奈川)



八巻 賢
(経営4、藤崎学園高・山梨)



磯山 貴大
(経営4、藤崎学園高・山梨)



大黒 渉
(経営3、鹿島学園・茨城)



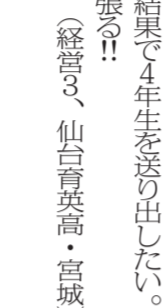
玉澤 悠輝
(経営3、大館国高・秋田)



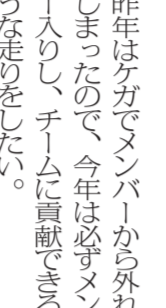
田村 優典
(経営3、市船橋高・千葉)



橋本 隆光
(経営3、青森山田高・青森)



山本 隆司
(経営3、仙台育英高・宮城)



石橋 佑一
(経営3、防府西高・山口)



中原 大
(経営2、世羅高・広島)



濱本 栄太
(経営2、防府西高・山口)



松岡 竜也
(経営2、防府西高・山口)



吉元 真司
(経営2、樟南高・鹿児島)



平田 啓介
(経営1、八女工高・福岡)



山口 浩勢
(経営1、惟信高・愛知)

目指して頑張ります。

最後の箱根なのですべてをぶつける。4年の意地をみせる。(経営4、宇和島東高・愛媛)

区間賞をとり、チームに貢献したい。(経営4、大牟田高・福岡)

4年生の意地、Bチームの意地を見せる。最後まであきらめず箱根駅伝を走れるように頑張る。(経営4、新発田中央高・新潟)

必ず結果を出す。目指せ3位以内!! 個人区間賞!! (経営4、桐蔭学園高・神奈川)

箱根駅伝で走ることが私の幼い頃からの夢なので、その夢を叶えたい。当日まで、集中して日常生活や練習をし、チームで3位以内を目指して、頑張りたい。(経営4、藤崎学園高・山梨)

3位以内入賞を目指して、区間上位で走れるようにチームに貢献したい。また、自分の地元で行われている出張駅伝の出場権も争っている。箱根でシードを争うだけでなく、次のことも考えたい。(経営3、出雲工高・島根)

そのほかの部員

- 上野 充 (経営4、文星芸術大附高・栃木)
- 遠藤 貴洋 (経営4、原町高・福岡)
- 岡村 貴充 (経営4、安塚高・新潟)
- 菅原 翼 (経営4、酒田南高・山形)
- 丸尾 康太 (経営4、藤枝明誠高・静岡)
- 諸橋 弘毅 (経営4、狭山ヶ丘高・埼玉)
- 山田 万磨 (経営4、市船橋高・千葉)
- 阿部 大介 (経営3、倉敷高・岡山)
- 岡部 省吾 (経営3、境西高・茨城)
- 鎌田 亮 (経営3、一関学院高・岩手)
- 木村 謙作 (経営3、市船橋高・千葉)
- 佐藤 勝茂 (経営3、福島高・福島)
- 相馬 慎吾 (経営3、花輪高・秋田)
- 高橋 誠 (経営3、浦和実業・埼玉)
- 千葉 誠典 (経営3、利府高・宮城)
- 宮元 太志 (経営3、小林高・宮崎)
- 国奥 大夢 (経営2、倉敷高・岡山)
- 武田 翔 (経営2、豊田大谷高・愛知)
- 圓井 敏彦 (経営2、田村高・福島)
- 中村 将太 (経営2、丸子修学館高・長野)
- 長谷川剛士 (経営2、春日部東高・埼玉)
- 半谷 遥 (経営2、高島高・山形)
- 山崎 義明 (経営2、長野日大高・長野)
- 渡辺 敦数 (経営2、農大高・埼玉)
- 石川 俊樹 (経営1、藤崎高・山梨)
- 櫻木健太郎 (経営1、札幌山の手高・北海道)
- 佐野琢一朗 (経営1、防府西高・山口)
- 三浦 直輝 (経営1、佐野日大高・栃木)
- 中山 裕史 (経営1、柏陵高・千葉)
- 富原 亮佑 (経営1、農大三高・埼玉)
- 梶野 裕也 (経営1、倉敷高・岡山)
- 江本 高至 (経営1、宇都宮学院大・栃木)
- 高(山口) 十間 匠 (経営4、豊田西高・静岡)
- 栗田 駿 (経営3、太田一高・茨城)
- 高宮達太郎 (経営3、国府高・熊本)
- 千葉 広基 (経営3、拓大紅陵高・千葉)
- 木村 博貴 (経営2、太田一高・茨城)
- 榎下田勝明 (経営2、樹徳高・群馬)
- 森田祐貴子 (現代政策2、国本女高・東京)
- 吉田あすき (現代政策2、関東六浦高・神奈川)

最低目標 6位上回るように

男子駅伝部 部部長 監督インタビュー



「初のシード権獲得(6位)という大きなプレッシャーを感じることはない。今年は目標を達成する。来年はシード権を獲得することを目指したい。次は6位という順位を上回ることを最低の目標とする。早稲田大学・駒沢大学・東洋大学の3強を一つも破ることも目標にしている。目標達成のために、記録会などの小さな大会でも3強には負けない気持ちで取り組んでいきたい。」

「シード権を獲得したことで、特別な練習はしていない。基本的な練習のスタイルは変えていません。記録会を含め、10月の出張駅伝・11月の全日本大学駅伝・1月の箱根駅伝と夏以降毎月イベントがあるような練習をしているのだから、ハードランニングは走っています。秋になると距離を走り、スタミナをつける練習を怠りません。」

「周回からの期待もあり、プレッシャーを感じていない。目標を達成することを目指す。」

「周回からの期待もあり、プレッシャーを感じていない。目標を達成することを目指す。」

「周回からの期待もあり、プレッシャーを感じていない。目標を達成することを目指す。」

箱根目指して走り込み

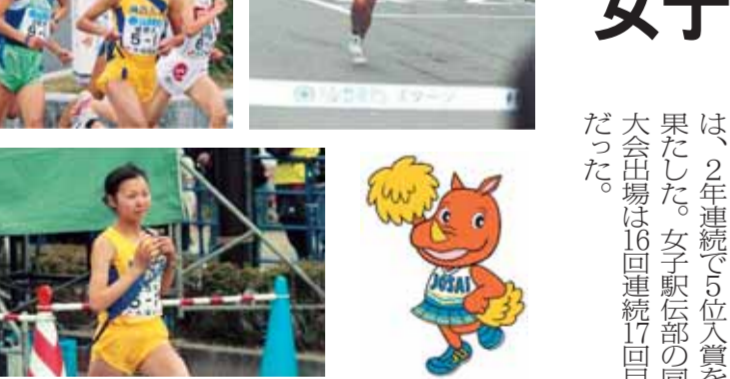
男子駅伝部 最終調整

「箱根」の頂点を狙う男子駅伝部は、最後の調整に入っている。エンターテインメントにも注目を浴びる。走り込み、スタミナアップも控え、ランナーも高麗川をわたる寒風を受けながら黙々と練習メニューをこなす。主に坂戸キャンパスのグラウンドで四百メートルを十本、三千メートルを三本、五キロを一本、といったメニューをこなす。

「箱根」の頂点を狙う男子駅伝部は、最後の調整に入っている。エンターテインメントにも注目を浴びる。走り込み、スタミナアップも控え、ランナーも高麗川をわたる寒風を受けながら黙々と練習メニューをこなす。主に坂戸キャンパスのグラウンドで四百メートルを十本、三千メートルを三本、五キロを一本、といったメニューをこなす。

「全日本」で2年連続5位

女子駅伝部 シード権獲得



宮城県仙台市で開催された第28回全日本大学女子駅伝部対校選手権大会(10月24日・杜の都駅伝)において、城西女子駅伝部は、2年連続で5位入賞を果たした。女子駅伝部の同大会出場は16回連続17回目だった。

城西女子駅伝部は、2年連続で5位入賞を果たした。女子駅伝部の同大会出場は16回連続17回目だった。

男子駅伝部も箱根で快走を

城西大学は、2区で7位を維持し、3区山田美紀(経営4)が4位まで順位を上げた。女子駅伝部の同大会出場は16回連続17回目だった。

城西大学は、2区で7位を維持し、3区山田美紀(経営4)が4位まで順位を上げた。女子駅伝部の同大会出場は16回連続17回目だった。

取材スタッフ

編集長 経営学部3年 千葉 史典
副編集長 経営学部2年 原 駿介
経営学部3年 安富英里香
経営学部2年 寺田 登
経営学部2年 藤原 優紀
経営学部2年 藤原 香里

監修・アドバイザー

副学長 草野 素雄
経営学部助教 土江 寛裕
経営学部助教 山口理恵子

記者募集

取材や記事の書き方は基本から学べます。興味がある学生、やる気がある学生、留学生も大歓迎です。連絡はこちらまで。josa@sports.josai.ac.jp

選手に贈るエール

城西大学は創立45年を迎えました。男子駅伝部の箱根での快走は、このキャンパスに誇りをもたらしました。シード権獲得の出場は素晴らしいこと。地元・坂戸市を盛り上げました。今回もぜひたくさんの方の市民が応援してくれるように。城西大学の目指す地域に密着した大学の姿をここに表します。箱根での快走を祈ります。

城西大学は創立45年を迎えました。男子駅伝部の箱根での快走は、このキャンパスに誇りをもたらしました。シード権獲得の出場は素晴らしいこと。地元・坂戸市を盛り上げました。今回もぜひたくさんの方の市民が応援してくれるように。城西大学の目指す地域に密着した大学の姿をここに表します。箱根での快走を祈ります。

城西大学は創立45年を迎えました。男子駅伝部の箱根での快走は、このキャンパスに誇りをもたらしました。シード権獲得の出場は素晴らしいこと。地元・坂戸市を盛り上げました。今回もぜひたくさんの方の市民が応援してくれるように。城西大学の目指す地域に密着した大学の姿をここに表します。箱根での快走を祈ります。

自己記録

5000m 13分41秒1
10000m 28分16秒79
3000m障害 8分33秒95
マラソン 2時間11分22秒

くしべ・せいじ

1971年11月11日 山口県出身
90年4月 早稲田大学人間科学部スポーツ学科入学
92年 全日本大学選手権大会10000m優勝
93年 第69回東京箱根間往復大学駅伝競走1区区間賞(区間新)
2001年4月 城西大学駅伝部コーチ就任
04年 城西大学理学部保健体育助手
05年 城西大学経営学部マネジメント総合学科講師
10年 //

井上悦夫 男子駅伝部後援会長
白幡 晶 男子駅伝部部長
高志 志 母体後援会長
崎玉 謙 母体後援会長

佐藤 鉄也 同窓会会長
森本 雅憲 学長